

中期目標 (学校ビジョン)		保護者・地域と連携し、望ましい職業観・勤労観を身につけ、知・徳・体のバランスのとれた次代を担う若者を育てる		今年度の 重点目標	1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける 2. 望ましい職業観・勤労観を身につけ、進路実現に向けて努力する 3. 健康に留意し、学力向上と部活動に励む 4. ビジネス社会及びグローバル社会に必要な力を身につける			
		年度当初		評価結果 ()月				
評価項目	評価の具体項目	現状(平成29年度実績等)	目標(年度末の目指す姿)	目標達成のための方策	経過・達成状況	評価	改善方策	
1. 鳥商生としての自覚と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動できる力をつける	【自覚と誇りを持つ】 ・鳥商生であることに自覚と誇りを持ち、規律正しい生活を送っている。 ・校内、校外を問わず、明るく笑顔で気持ちの良い挨拶ができる。制服を正しく着こなしている。 【自ら考え、判断し、行動できる】 ・規範意識、人権意識が高く、秩序だった言動ができるとともに、周囲や集団のために貢献する姿勢が身についている。	・88%の生徒が鳥商に入学してよかったと回答。(学校生活アンケート) ・95%の生徒が正しい身だしなみを実践。90%が自ら進んで挨拶していると回答している(学校生活アンケート)が、日常的に挨拶できている生徒の数は減ってきている。また学校外でも身だしなみを整える意識を高める必要がある。 ・95%の保護者が「鳥商は保護者・地域社会から信頼されている」と回答。(学校評価アンケート) ・95%の保護者が「生徒は挨拶やルール、マナー等社会に通用する意識や態度が磨かれている」と回答。(学校評価アンケート) ・88%の生徒が学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に参加していると回答。(学校生活アンケート) ・92%の生徒が安心して安全な学校生活を送っていると回答。(学校生活アンケート) ・69.8%の生徒が年間を通して無遅刻であった。遅刻回数は1日平均0.75件、1人あたり0.79回。 ・OUアンケートを年間2回(3年生は1回)実施。結果をGと共有し気になる生徒について個別に相談しながら対応した。Sとの面談件数(生徒、保護者、教員)は延べ146件。	・90%以上の生徒が、商業高校で学ぶ目的意識を高く持ち、鳥商に入學して良かったと思っている。 ・年間無遅刻の生徒が80%以上、一人あたりの遅刻回数が年間0.4回以下である。 ・学校内外を問わず、全校生徒が気持ちの良いさわやかな挨拶が自らできている。 ・学校内外を問わず制服の正しい着こなしができている。 ・地域社会から信頼と信用を得ている。 ・規範意識が高く、社会、学校の規則を守り、場面に応じた言動をとっている。 ・学校行事、生徒会活動、部活動に積極的に参加し、集団に貢献している生徒が90%以上。 ・安心で安全な学校生活を送っていると感じている生徒が90%以上。	・鳥商での学びが将来の職場での仕事や上級学校での学びに活用できるのをおかき、体験活動をとおして理解し実感できるようにする。 ・日常生活における挨拶、正しい身だしなみ、規律遵守などの指導を継続。 ・学校外での行動や態度が地域社会からの学校全体への信頼に影響することを強く意識させる。 ・生徒自身が鳥商生としての誇りを持ち、自分たちが学校を活性化させる意欲を高める取組を実施する。 ・学校行事、学年行事など学校、学年、クラス単位で取り組む活動において、各自が当事者意識をもって参加する活動を進める。 ・学校生活アンケートを継続して実施する。 ・OUアンケートを実施するとともに、日々の観察の中で気になる生徒については教育相談員と連携しながら対応していく。				
	【望ましい職業観、勤労観を身につける】 ・3年間を通じた効果的な体験的活動によって、自立・自律のための実践力や応用力の育成が行われている。 【進路実現に向けて努力する】 体系的計画的なキャリア教育によって、将来の社会生活、職業生活に結びつく進路選択が行われている。 ・進路実現に資する模擬試験、実務検定試験等に積極的に取り組んでいる。	・キャリア教育全体計画に基づく体験活動を予定どおり実施。1年生ビジネス体験実習(10月11日～13日)、2年生修学旅行(同期間)、3年生第24回鳥商デパート(12月2日、3日)を中心としてそれぞれの活動についで事前指導、事後学習を含めて実施できた。就職、進学に関して卒業生、外部講師を招いての講演会、マナー指導、面接指導なども実施し進路決定に役立った。 ・自己表現学習プログラムを計画に沿って実施。各種講演会においては謝辞を生徒代表に行かせた。3年生に対しての論文指導、全職員での面接指導を実施。就職内定、進学合格とも100%である。1、2年生ではSHR時に1分間スピーチを行い、自分の意見を多数発表する経験を積ませた。 ・検定試験を設けた計画的な進路指導。3年生の進路決定・就職状況は1種目以上が72人(85人)であり取得率は41.6%(52.5%)、1級未取得者は7人(3人)。()は一昨年度。 ・夏季休業、冬季休業中に全学年で商業科目の補習を実施。3年生は進学希望者を対象に普通教科の平日補習を実施。 ・2年生進学希望者対象の勉強セミナー(8月1日、2日)、全学年対象の公務員セミナー(8月1日～3日)を実施。 ・1年生対象に4年制大見学会(12月5日関西大学、大阪経済大学)を実施。 ・就職希望者、進学希望者ともに全員が進路決定できた。	・各学年において、キャリア教育に関する体験活動が体系的に計画され、実施されている。 ・自己の社会生活、職業生活に結びつく進路選択がなされている。 ・自己の進路目標の実現に資する各種模擬試験、実務検定試験等に意欲的に取り組んでいる。 ・各種模擬試験、実務検定試験等の受験への支援が計画的に実施されている。 ・社会人として求められるコミュニケーション能力、自己表現力の基礎が身についている。 ・就職希望者内定率、進学希望者合格率ともに100%である。	・平成30年度キャリア教育全体計画に従って事業、行事を実施する。実施後は振り返りさせる。 ・自己表現力を高めるために必要な知識量(語彙力、社会事象)についての知識量を増やす。 ・3年生への面接指導、小論文指導を継続。	・検定週間を設定し検定補習を計画的に実施。 ・長期休業期間中の補習(商業科目を中心に)を継続。 ・3年生進学希望者への平日補習(普通教科)を継続。 ・公務員セミナー(全学年対象)、2年生勉強合宿、1年生4年制大見学会を継続して実施。 ・鳥取大学と連携して4年制大学進学希望者への進路指導を実施する。			
3. 健康に留意し、学力向上と部活動に励む	【健康に留意する】 ・基本的な生活習慣の大切さやよく理解し、運動・食事・睡眠に留意した規則正しい生活を送っている。 【学力向上に努める】 ・主体的に授業に取組み、秩序のある学習態度が保たれている。 ・進路実現を意識した自宅学習が、継続的に積み重ねられている。 【部活動に励む】 ・すべての生徒が部活動に加入し、優勝を目指した努力を積み重ねること、人間的に成長している。	・77%の生徒が運動・食事・睡眠を意識した規則正しい生活を送っており、80%が寝るに集中できている。(学校生活アンケート) ・就寝が午前0時以降の生徒が38.7%健康に関するアンケート)あり、睡眠不足により体の不調を訴える生徒には個別指導を行った。 ・保健だよりを発行し生徒、保護者に時期に応じた健康管理の啓発を実施。 ・健康教育LHRを2回実施し健康管理に対する意識を高める機会を設定。 ・0限体育を水曜、金曜に実施。 ・体育祭(7月)で1年生全員による商高体操披露。また全校徒歩大会(10月)を実施。 ・新体力テストで県平均を下回る項目は16(一昨年度と同数)であった。	・欠席、遅刻をしないで、運動・食事・睡眠を意識した規則正しい生活を送っている生徒が80%以上である。 ・適切な健康管理が行われており、自主的な運動を心がけ体力向上に努めている。 ・生活リズムが確立され授業に集中できている生徒が80%以上である。 ・商業科目、普通教科科目ともバランスよく学習し、定期考査期間を除く家庭学習時間が1日平均60分以上である。 ・部活動に全生徒が加入し学習との両立に努めている。 ・部活動が知・徳・体のバランスのとれた人格形成の場になっており、優勝を目指した努力が積み重ねられている。 ・各活動が互いに切磋琢磨し、全国大会出場への活動が10以上となっている。	・学校生活アンケート、健康に関するアンケートを継続して実施する。 ・生活習慣について個別指導を行う。 ・健康教育LHRを2回実施する。 ・0限体育、商高体操、徒歩大会など体育行事を継続して実施する。 ・体育競技でも基礎体力を高めるメニューを継続して取り入れる。				
	【社会人に必要な力を身につける】 ・笑顔の挨拶、時間厳守、正しい制服の着こなし、丁寧な言葉遣いができる。 【ビジネス実践力を向上させる】 ・授業や体験的活動等によって蓄積した知識や技術を、実践力・応用力の育成に活かすことができる。 【グローバル感覚、語学力を磨く】 ・異なった意見に対する寛容の精神と、自分で考え伝える力を兼ね備えた自己表現力が身につけている。 ・グローバル感覚、英語運用能力が向上している。	・定期的な服装頭髪指導に加え、日常的に学校生活全般にわたって挨拶、身だしなみ等、指導を行った。全校集会等でも注意を喚起。 ・ほとんどの生徒は場に応じた適切な言葉遣い、相手を配慮した言動が取れている。 ・学校評議員会、学校関係者評価委員会を3回実施した。第1回の提言を受けて、学校活性化事業(先進校訪問)を本年度独自事業で実施する予定。 ・マナーアップさわやか運動をPTAと協力して2回実施。 ・全校集会等での集合状況は概ねよいが、授業前の態勢作りを徹底する必要がある。 ・第24回鳥商デパートを開催。全学年が参加し保護者にも協力いただいたが売り上げ13,089,673円、来場者数9,791人、お客様満足度96.9%と過去最高を記録した。2月15日には成果発表会を開催授業指導担当及び協力企業の方に講演をいただいた。 ・2月末時点での図書貸し出し冊数は延べ2,712冊。一人あたりに対する5冊目と一昨年度同期より増加した。授業での利用時間数は238時間(一昨年度同期は95時間)となり大幅に増えた。 ・新たな交流先は検討途中。 ・韓国江原道平和教育フェスティバルに生徒2名が参加。 ・鳥取県・モンゴル中央東交流20周年記念事業により生徒5名職員1名がモンゴル中央東を訪問。一昨年度来校したフーム総合学校の生徒と交流を行った。 ・全商英語検定1級取得者数は8名(一昨年度11名)であったが、2級の合格者数、合格率は上昇した。(2級合格者41→105、合格率15.9%→30.9%) ・1年生コミュニケーション英語1で習熟度別授業を実施。	・社会人として身につけておくべき挨拶の仕方、場に応じた適切な言葉遣いができる。 ・相手に好意を与える制服の着こなし、高い規範意識、人権意識に基づく言動が取れている。 ・授業や様々な行事の開始時間に対し、余裕を持った行動が実現できている。 ・鳥商教育の集大成である第25回鳥商デパートにおいて、鳥商での生活全般で習得したビジネスの知識、技術を実践、応用できている。 ・図書の貸し出し冊数が増加している。 ・生徒がグローバル社会を実感できるよう留学生、海外からの訪問団を積極的に受け入れるなど異文化に触れる機会を設定している。 ・全商英語検定の取得状況が昨年度より向上している。	・学校生活のあらゆる場面で指導を継続。職員全体の意識を高めるところにも向ける。 ・学校評議員会並びに学校関係者評価委員会を開催し、各方面から意見を求め学校改善に活かす。 ・PTAと協力してのマナーアップ運動等を実施する。 ・集合指導、集合指導を行い時間前の集合を習慣づける。 ・授業開始前の態勢作りを徹底する。 ・新着図書を紹介を継続。面接指導、小論文指導、授業での書籍活用を促進する。 ・英語圏の交流先について各所に協力を仰ぎながら検討する。 ・海外からの訪問団受け入れ、海外派遣を積極的に推進。 ・全商英検1級、実用英語検定2級以上の受験を勧めてつて対策を実施。 ・習熟度別授業を活用して基礎知識の定着のための学習と発展的学習を平行して行う。				